

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社、九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年7月7日（火）13：30～17：10

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室B（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田検査評価室長、笠川室長補佐、米林主任検査監視官
技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
濱口技術研究調査官、小城技術研究調査官、
川口技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他3名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他3名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 課長 他1名

三菱重工業株式会社 原子力セグメント

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他4名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他2名

5. 要旨

（1）関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）から、配布資料（1）に基づき、伊方発電所3号機、大飯発電所3／4号機及び玄海3／4号機のレベル1.5確率論的リスク評価（PRA）モデルの主要な相違点について説明があった。

- (2) 今後、原子力規制庁は、大飯発電所3／4号機及び玄海3／4号機のレベル1.5 P R Aモデルを確認し、不明点等に対して質問をとりまとめて関西電力と九州電力に提示することとした。
- (3) また、原子力規制庁は、関西電力及び九州電力からの質問の回答において、より詳細な説明が必要なものについては、引き続き面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

- (1) 伊方3号機、大飯3／4号機、玄海3／4号機レベル1.5 P R Aモデルの主要な相違点（九州電力及び関西電力資料）